

未来を描く

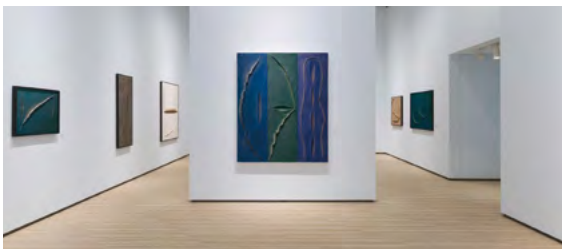
株式会社ホワイトストーン(ホワイトストーンギャラリー)は、香港における人材の活用と国際市場への参入を目指し、東京から香港へ本社を移転しました

1967年の創業以来、ホワイトストーンギャラリーは、プライマリー・マーケット並びにセカンダリー・マーケットにおいて、国籍や年齢に関わらず、日本の伝統芸術から印象派、エコール・ド・パリ、GUTAI(具体)、草間彌生、奈良美智、ハイレッド・センター、その他新興芸術家に至るまで、多岐にわたるアーティストを紹介してきました。

インベスト香港の支援の下、同ギャラリーは、2015年に東京から香港に本社を移転しました。香港は若いアーティストを引き付け、国際市場にアピールするのに最適な都市だからです。

「香港にしっかりとした基盤を築くことが当社の使命です。香港は当社にとって、優れた若いアーティストを発掘し、国際市場で当社をアピールするために最も重要な都市の一つになるであろうと確信しています。香港では市場の動向やニーズを先取りすることができるからです。」と株式会社ホワイトストーン 代表取締役 白石幸栄氏は述べました。

白石氏によると、香港特別行政区政府の国際企業を歓迎する姿勢も本社移転の大きな後押しとなりました。「シンプルで実用的な制度と、インベスト香港の熱心な支援は、香港での事業開始に当たり、大きな助けとなりました。また、多くの収集家にとって、芸術を楽しむ、貴重な作品を手に入れるのに最適な環境を香港は備えていると思います。」と同氏は述べました。



アート取引の重要拠点

ホワイトストーンギャラリーの主要な顧客は、芸術品を資産とみなして生涯に渡り収集する、長期的な観点に立ったアートコレクターです。従って、時間が経つにつれ価値が上がり、市場性が高まる作品の供給が同社の使命です。

「香港市場は非常にオープンであり、活気溢れる取引が繰り返られているので、主要な美術館、学芸員、評論家、コレクターやオークションハウスが香港に集まっています。こうした活気ある環境が当社にとって大いにプラスとなっています。」と白石氏は述べました。同氏は、香港が国際アート市場において中心的役割を担っていることから、香港でのオフィス開設がホワイトストーンギャラリーをより洗練された国際的なギャラリーにするための大きな一歩になると確信しています。

GUTAI(具体)* 芸術の専門家 白石氏は最近、香港のオークションで多くの具体作品が売買されるのを見て、嬉しく思っています。展覧会の開催や香港のより広いアートコミュニティとの連携を通して、香港に確固とした基盤の確立を目指しています。

注：* 吉原治良によって設立された具体美術協会は、戦後の日本で最も影響力を持った前衛的な芸術運動の一つでした。

「この場を借りまして、インベスト香港に感謝の意を表したいと思います。インベスト香港の支援なしには、香港でのスムーズなギャラリー開設はありませんでした。当社は、日本以外のアート市場にはさほど精通しておらず、インベスト香港による詳細な情報の提供や細かな支援が大きな助けとなりました。」と白石氏は締めくくりました。

同社は事業の発展と拡大を図り、2018年3月にはギャラリー専用のビル、H Queen'sに入居しました。同社のギャラリーでは2フロアを使用して日本及び国際的なアーティストの作品を展示しています。

ホワイトストーンギャラリー

- 1967年に東京に設立
- 具体美術を専門とする

www.whitestone-gallery.com

香港市場は非常にオープンであり、活気溢れる取引が繰り返られているので、主要な美術館、学芸員、評論家、コレクターやオークションハウスが香港に集まっています。

